

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

1目 社会教育総務費

家庭・地域教育課 (内線：7519)

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源			備考
				国庫支出金	起債	その他 (基金繰入金)	
(新)みんなで取り組む家庭教育応援プロジェクト事業	8,438	0	8,438			8,438	
トータルコスト	12,432千円(前年度0千円) [正職員：0.5人]						
主な業務内容	プログラム開発の企画・運営、研修会の連絡調整・開催、交流会の開催等						
工程表の政策目標(指標)	-						

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

子育てや家庭教育に関する悩みや不安を抱える親が増えている中で、学校、園や地域で、家庭教育について互いに学びあう「子育て親育ち」プログラムを作成・普及し、保護者同士の仲間づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域のみんなで支えあう機運を醸成する。

2 事業内容

(単位：千円)

区分	事業費	事業内容
「子育て親育ち」プログラムの作成と普及	2,683	<p>○プログラムの作成 「親育ち」のために、学校や保育所、公民館などを会場とした小集会等で、家庭教育についてみんなで考え、今後も学びあえる、仲間づくりにも繋がる参加型研修プログラムを作成する。</p> <p>プログラムテーマ例 ①どうほめる、どうしかる？ 親と子のコミュニケーションのとり方 ②体験活動により子どもの生きる力を育もう ③学力向上を図る基本的な生活習慣の確立</p> <p>○ファシリテータ(促進者)の養成 市町村教育委員会をはじめ、地域や学校において、家庭教育に関する支援者として、「子育て親育ち」プログラムのファシリテータを養成し、地域における家庭教育支援の中核となる人材を育成する。</p> <p>○ファシリテータ(促進者)の派遣 保護者の集まりなどに、「親育ちファシリテータ」を派遣し、プログラムを活用した実践型研修を実施する。</p> <p>期間：11月～3月 対象：保育所、幼稚園、小学校、中学校、公民館、健診会場 子育て支援センター、家庭教育推進協力企業等 (入学前、小学1年生に重点) 内容：「子育て親育ち」プログラムの演習</p>
「子育て親育ち」応援団ネットワーク会議の開催	102	<p>子育て支援や家庭教育の向上に取り組んでいる各種団体が、お互いの実践を交換するなど、親育ちを支援するネットワークづくりを進める。</p> <p>時期：11月 対象：県内家庭教育支援者、ファシリテータ団体等 内容：事例発表、既存の支援活動、今後の支援策等情報交換</p>
「子育て親育ち」応援メッセージの発信	5,653	<p>CATVなどでのテレビスポットや情報誌等により、保護者をはじめ、子育て中の親の周囲にいる祖父母等の家族全体へデータ等を紹介しながら家庭教育の重要性を強く訴える。</p> <p>期間：11月第3日曜日前後各1週間 媒体：テレビ、子育て情報誌、ポスター、チラシ 内容：「子育て親育ち」応援メッセージ</p>

3 これまでの取組状況、改善点

- 少子化、地域や家族構成の変化から、子育てに関して地域や祖父母から十分な支援が得られず、不安を抱える親が増えている。また、学級懇談やPTAの研修会へ参加する親としない親が二極化する傾向にあり、子どもが小さいうちにお互いに声をかけ、家庭教育について学びあえる仲間づくりを進める必要がある。
- 鳥取県教育審議会生涯学習分科会でも、22年10月「今、家庭の教育力向上のために～みんなで支えあおう「子育て」「親育ち」～」というメッセージを提言し、「仲間づくりを進めよう」「家庭教育の大切さを伝えよう」「家庭教育と一緒に取り組もう」などの取り組みを求めており、行政だけでなく、民間による子育て支援の力を最大限に生かしていくシステムづくりを行う。